

令和元年12月（第4回）岩倉市議会定例会
一般質問通告要旨

1 谷平 敬子 議員

- 1 がん検診への意識啓発について
 - (1) がん啓発の取組はどのようなか。
 - (2) 乳がんの受診率はどのようなか。
 - (3) 乳がんチェックシートを配布するべきではないか。
- 2 市役所窓口を更に利用しやすく
 - (1) 死亡手続の流れはどのようなか。
 - (2) おくやみハンドブックを作成してはどうか。
 - (3) おくやみコーナーの設置は出来ないか。
- 3 外国籍市民向け窓口充実について
 - (1) 外国人の登録者数はどのようなか。
 - (2) 外国人の国籍別の状況はどのようなか。
 - (3) 多国籍の方に対してのコミュニケーションはどのようなか。

2 鬼頭 博和 議員

- 1 地域包括ケアシステム構築の進捗状況について
 - (1) 新しい総合事業への移行状況はどのようなか。
 - (2) 住民主体の交流の場（サロン活動、居場所づくり）の取組状況はどのようなか。
 - (3) 地域支援事業におけるボランティアの活用はできているか。
 - (4) 小学校区を単位とした地域住民による支え合いの取組ができないか。
- 2 「8050問題」について
 - (1) 「8050問題」に対する現在の取組状況はどのようなか。
 - (2) 今後の取組として、アウトリーチ型支援はできないか。
- 3 防災・減災の取組について
 - (1) ハザードマップの整備、周知はできているのか。
 - (2) マイ・タイムラインの活用について当局の見解はどのようなか。
 - (3) マイ・タイムライン作成の周知、啓発を行うべきではないか。
 - (4) 市内の小中学校で、緊急地震速報と校内放送の連携はできているか。
 - (5) 災害時の給食センターの役割はどのようなか。

3 宮川 隆 議員

1 学校プールの今後の展望はどのように考えられているのか

- (1) 北小学校屋内運動場建設にあたってプールの取り壊しが余儀なくされるが当面の対策はどのように考えられているのか。
- (2) 各学校プールの建設時期は多少異なるが、近い将来修繕及び大規模改修の時期が訪れる。方針はあるのか。
- (3) 東小学校低学年用プール故障に伴う民間委託の反応はどうだったのか。
 - ① 子どもたちの感想
 - ② 父兄の感想
 - ③ 学校側の感想
- (4) 学校プールの稼働率は3%ほどと聞かすが、このような公共施設はほかにもあるのか。(使用時間÷24時間÷365日)
- (5) 年間プールの維持費に要している費用はいかほどか。
- (6) 仮に7つの学校プールをリニューアルする際の想定費用はいくらになるのか。
- (7) 1つのプールをリニューアルする際の工期はどうか、授業への影響はないのか。
- (8) 市内企業で多くの冷却水を処理し放水しているが、この温水を有効利用する計画は立てられないのか。
- (9) 首都圏では行政と民間が手を組んで水泳授業を実施している事例もある。岩倉市モデルを作ってみてはどうか。

2 人事管理は適正に行われているのか

- (1) 近日、職員の不祥事や業務上のミスなど岩倉市の行政運営において信用の喪失につながりかねない事案が発生している。これらの発生事由をどのように掘り下げて検証はされているのか。
- (2) 近隣及び同規模の自治体と比べて発生比率はどのようになっているのか。
- (3) 高学歴社会の今日、少子化も相まって個人の精神的なもろさが一般的に問題視されているが、これらをフォローする仕組みはあるのか。
- (4) 個人の資質に起因している案件もあると思うが、その際の配置は考慮されているのか。
- (5) そもそも適性検査を定期的実施しているのか。
- (6) 年功序列人事にとらわれてはいないか。
- (7) 数値的目標管理が難しい職種であることは承知しているが、ひとり当たりの業務量は適正なのか。
- (8) グループ単位や課単位の仕事量は均一化されているのか。
- (9) 結果には必ず原因がある。事故発生率におけるハインリッヒの法則にみられるように重大案件を起こす前に小さなミスを未然に無くす取組が必要と考えるがいかか。

4 大野 慎治 議員

- 1 市役所・公共施設の室内温度について問う
 - (1) クールビズ・ウォームビズの考え方について問う。
 - (2) 市役所・公共施設の設定温度は何度で設定されているのか。
 - (3) 姫路市役所でエアコンの設定温度を25度に下げる施策をどのように評価しているのか。
- 2 小学1・2年生の下校について問う
 - (1) 現状はどのようになっているのか。
 - (2) 稲沢市が行っているセーフティ・プラスワン事業をどのように評価しているのか。
 - (3) 試行的に一斉下校を導入するべきではないか。
- 3 小中学校のプールのあり方の検討について問う
 - (1) 岩倉東小学校における民間プールを活用した授業の評価はどのようになっているのか。
 - (2) 民間プールを活用したプール授業を拡大するべきではないか。
- 4 下田南遺跡について問う
 - (1) 現状の進捗状況について問う。
 - (2) 埋蔵文化財発掘通信を発行して市民周知を図るべきではないか。
 - (3) 市民現地説明会を実施するべきではないか。
- 5 避難所運営について問う
 - (1) 避難所運営マニュアルについて問う。
 - (2) 大規模災害時における避難所開設・運営体制は万全なのか。
- 6 岩倉市商工会に対する補助・助成について問う
 - (1) 本市における補助率はどのようになっているのか。
 - (2) 近隣市町の商工会に対する補助率はどのようになっているのか。
 - (3) 補助率を見直すべきではないか。

5 井上 真砂美 議員

- 1 「伝統文化の継承」を「アクティブ・ラーニング」へと結び付けて考えることはできないか
 - (1) 史跡公園鳥居建民家東の唐箕や民俗資料室の昔の道具をどう管理・保存しているのか。
 - (2) 空き家（特に昭和時代以前建築の家）を保存する計画はあるか。

- (3) 五条川小学校児童と地域の方々との座学ではない活動（しめ縄作り・昔のくらしと道具学習・餅つき体験・昔の遊び紹介）が授業時間に行われる価値をどう評価されるのか。
- (4) 民俗資料室を体験型資料室として残すことは可能か。
- (5) 変化が激しい時代を生き抜くために基本を学ぶ体験学習は必須と思われるが、授業時間を確保することはできているのか。
- (6) 生涯学習のアクティブ・ラーニングは進んでいるのか。

2 あいちトリエンナーレについて

- (1) あいちトリエンナーレは愛知県で3年毎に開催されるが岩倉市はどう応援していくのか。

3 市民の足である交通網の整備について

- (1) ふれ愛まつりの巡回バス運行に係る予算はどれ位か。
- (2) 子育て支援センターへ行くのに「くるくるい〜わ号」が運行しない時間に利用できないのか。
- (3) 市民プラザ、図書館の駐車場の数を増やす計画はないか。

4 気持ちよく使用できるトイレを維持していくためにどうしたらよいか考えたい

- (1) 公共施設・都市公園・児童遊園等トイレを維持していくのに課題はあるか。
- (2) 名鉄石仏駅のトイレ整備工事の進捗状況は。
- (3) 石仏駅東の「シンボルとなるような市民でつくるトイレ」はできるのか。

6 水野 忠三 議員

1 中学生の通学手段(特に、自転車通学の制限)を問う

- (1) 現在、岩倉市内の各中学校で、徒歩通学と自転車通学の区分はどのようになっているか。
- (2) 自宅が徒歩通学の地域内にあるために自転車で通学できない生徒について、本人及び保護者の要望や地域の実情により自転車通学の可否を柔軟に判断すべきと考えるが、見解を問う。

2 先日（2019年11月24日）岩倉東小学校で実施された防災訓練の際に感じたことを問う

- (1) 昨年9月終わりの台風で、曾野小学校体育館の窓ガラスが割れ、ガラスが飛散したと聞いているが、今後、窓ガラスが割れた際の飛散防止対策などの取組はどのように進めていくか。
- (2) 実際の災害時には、避難行動など、外国人の方々和其他の方々と同ー行動をとる必要があると考えるが、そのための施策を問う。

- (3) [(2)に関連して、] 体育館などの避難所で、外国人の方々と他の方々が共同で生活する事態が生じた際に、言葉(言語)の壁や生活習慣の違いなどから生じる誤解や摩擦を回避するために、行政としてはどのような取組ができるか。

3 岩倉市の財政及び公共事業を問う

- (1) 現在の岩倉市の財政状況をどのように評価しているか。
- (2) 将来の岩倉市の財政状況は どのようになっていくと予想されるか。
- (3) 現在の国債の金利(利率)及び岩倉市の公債(市債)の金利(利率)はどの程度か。
- (4) 現在の公債利率(利回り)を上回る社会的リターンのある公共事業は、収益が資金コストを上回っているため、いわゆる自己ファイナンスができていていると考えるが、見解を問う。
- (5) また、そのような公共事業(プロジェクト)を実施することによって、将来の市民(納税者)の負担を増やさずに必要な施策を実施・継続することができると考えるが、見解を問う。
- (6) 社会的な収益率が公債の金利(利率)を上回るインフラ事業に対して、その公共投資が自己ファイナンスできる限り、岩倉市は財政赤字の規模や公債債務の「上限」を気にする必要がなくなる可能性があると考え、財政規律という観点から、見解を問う。
- (7) 現在及び将来の市民(納税者)の負担にならない公共事業(プロジェクト)の「発掘」に積極的に取り組むべきと考えるが、見解を問う。
- (8) [(7)に関連して、] その際、当該公共事業(プロジェクト)が公債利率(利回り)を上回る社会的な収益率を生む可能性があるか否かを審査する必要があると考えるが、そのようなプロジェクトの選別と監視のための独立した委員会等を設けることについて、見解を問う。

7 黒川 武 議員

1 組織及び職員による不祥事について

- (1) この間の組織及び職員による不祥事について、どのように問題点を検証し、再発防止策を講じているのか。
- (2) 公務員倫理研修について問う。
- (3) 人材育成基本方針は実践できているのか。
- ① 人材育成の戦略の実効性について問う。
 - ② 市民サービスの品質管理は管理職や組織の幹部に求められる責務と考えるが、見解はどうか。
 - ③ 業務改善運動について提案する。

2 第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略に向けて、検討すべき課題を提案する

- (1) 地域未来投資促進法に基づく地域経済牽引事業の取組を愛知県に働きかけてはどうか。
- ① 川井野寄地区工業用地立地エントリーについて問う。

- ② 地域未来投資促進法に基づく地域経済牽引事業で経済の活性化を。
- (2) 職員の地域での活動をどのように推進するのか。
- ① 職員はもっと地域に出て、市民協働を推進しよう。
 - ② 公務員の仕事に誇りを持ち、世の中を変える志を持とう。

8 堀 巖 議員

- 1 船橋楽器資料館に対する支援はできないのか
- (1) 資料館に対し、岩倉市の観光、文化などの視点で、どのように捉えているのか。
 - (2) これまでの公的な支援はどのようなであったか。
 - (3) 他の公有財産でないものに対する補助は、どのようなになっているか。
 - (4) 今後、どのような支援策が考えられるのか。
- 2 刈草や剪定枝を堆肥などにする施設や設備を求める
- (1) 街路樹などの街中の緑は、まちの風格を高め、市民の憩いの場となるが、一方で落ち葉の処理に経費が掛かるなどの諸問題も発生する。現在、落ち葉や剪定した枝はどのように処理されているのか。
 - (2) 一般廃棄物の中に、何%混じっているのか。
 - (3) 溶融炉の長寿命化の観点からも堆肥化やチップ化にすべきではないか。ごみ減量化による現年分のコスト減とその波及効果としての長寿命化分のコスト減の概算はどのくらいか。
- 3 総合体育文化センターは、岩倉市民と市外の人と同じ使用料となっている。見直しはしないのか
- 4 岩倉市市民参加条例の制度の改正を求める
- (1) 政策提案制度で提案した団体が審査会の議事録の閲覧を要請したところ、非公開だという返答だったという。非公開の根拠は何か。
 - (2) 審査に当たって、提案内容に疑義があるときには直接ヒアリングして欲しいと事前に話をしたが、その機会は設けられなかった。なぜか。
 - (3) 政策提案制度によって不採択となった場合、行政不服審査法の対象となるか。
 - (4) 不採択にする場合は、特に聴聞や弁明などの機会を設けるべきではないか。

9 関戸 郁文 議員

- 1 岩倉市における持続可能な開発目標（SDGs）の取組について問う
- (1) 岩倉市におけるSDGsの市民周知の取組はどのようなものか。
 - (2) それぞれの項目に関し今までの取組はどうか。
 - (3) 各部署の連携のための対応組織が必要と思われるがどうか。

- (4) 次期総合計画にはどのように反映させていくのか。
 - (5) 小中学校での取組はどのようなか。
 - (6) 特に教育分野目標の施策はどのようなか。
- 2 愛知ターゲットの岩倉市における愛知ターゲット達成戦略について問う
- (1) 愛知ターゲットの普及など岩倉市における取組についてはどのようなか。
 - (2) 生物多様性地域戦略の市民参加についてはどうか。
 - (3) 岩倉市において2020年までの目標達成度はどのようなか。
- 3 農村地域の高齢化・混住化等で、農地の機能維持に支障が生じてきているが対策について問う
- (1) 農業用水路畦畔がきれいに管理されている所と草だらけの所があるがこのような状況をどのようにとらえているのか。
 - (2) 農業用水路等、農地環境保全管理についての今後の計画はあるのか。
 - (3) 日本型直接支払制度・多面的機能支払交付金事業の近隣市町の状況はどのようなか。岩倉市の対応はどのようなものか。

10 榎谷 規子 議員

- 1 すべての子どもに権利としての保育を格差なく保障すべき
- (1) 来年度の保育希望はどういう状況か。
 - ① すべての保護者の要望、子どもたちの発達保障に応えられるものになっているのか。きょうだい別々の園になることはないか。
 - ② 受入れ体制は十分なのか。保育士は不足していないのか。
 - (2) 「無償化」と言いながらも給食費の負担に対して、どのような状況か。主食費・副食費の市負担は考えないのか。
 - (3) 病児保育・病後児保育は要望に応えられているのか。利用数に大きな差があるが委託料に違いがないのはなぜか。
 - (4) 保育園送迎ステーションの運転手は運行に支障なく確保できているのか。
 - (5) 公園の砂場について、乳幼児が遊べるような管理を。
 - (6) 保育園児のさんぽコースは歩車分離にして安全対策を。
- 2 防災、特に風水害対策の強化を求める
- (1) 市民の要望に応える避難所の開設を。
 - (2) 区の会館のガラス戸に強度のあるシャッター等の設置を。
 - (3) ハザードマップの改定をすべきではないか。

11 木村 冬樹 議員

- 1 会計年度任用職員への移行をどのように進めているのか
 - (1) 規則はいつできるのか。
 - (2) 当該職員と職員組合への説明は行われているのか。
 - (3) 具体的にどのように進めていくのか。
- 2 政策・施策・事業における市の意思決定はどのようにされているのか
 - (1) 黒塗り公用車の購入は必要か。
 - (2) シティプロモーション推進事業は終了するのか。
 - (3) 小中学校の水泳授業の民間プール活用は既定の方針なのか。
 - (4) 待機児童対策としての民間保育施設の整備はどのように決まるのか。
 - (5) 市の意思決定を透明化（庁内の検討体制・情報共有・市民参加）すべきではないか。
- 3 ジェンダー平等社会の実現を
 - (1) 暴力被害に関する相談・支援体制はどうなっているか。
 - (2) 市のハラスメント防止対策はどのようなものか。
 - (3) 男女共同参画基本計画にジェンダー平等を位置づけるべきではないか。
- 4 マイナンバーカードの普及は進むのか
 - (1) マイナンバーカード普及に関する政府の動きをどう見ているのか。
 - (2) 交付円滑化計画はどのように策定されたのか。
 - (3) 改めてマイナンバー制度の問題点を確認すべきではないか。
- 5 学校給食の民間委託は本当に順調なのか
 - (1) 業務内容全般を検証して、仕様書の見直し・徹底を図るべきではないか。
 - (2) スタッフは確保できているのか。

12 須藤 智子 議員

- 1 幼川橋の修繕について問う
 - (1) 通学路の安全のために歩道の設置を望む。
- 2 岩倉市ビジネスサポートセンターについて問う
 - (1) 市内の地域産業が活性化されたのか。
 - (2) 岡崎ビジネスサポートセンター（Oka-Biz）の支援スキルは活かされているのか。
 - (3) 今後の岩倉市ビジネスサポートセンターの意気込みは。
- 3 児童虐待防止法及び児童福祉法の改正について問う
 - (1) 子どもの権利を守るための具体的な対応策は。
 - (2) 安全確認・初期対応策は。

- (3) 関係機関の姿勢は。
- (4) 市町村の機関連携強化と支援はあるのか。

13 片岡 健一郎 議員

- 1 岩倉駅東地区の賑わい創出について問う
 - (1) 桜通線及び江南岩倉線の今後の計画と進捗
 - (2) 線整備を効果的にする方法をどう考えているか。
 - (3) 春日井一宮線より東の桜通線の整備計画はどうか。
 - (4) 賑わい創出を誘導する政策はどう考えているか。

- 2 災害時における市の対応について問う
 - (1) 市内全域の避難所の定員及び備蓄品の状況はどうか。
 - (2) 自助、共助の意識付けを市民へ浸透すべきではないか。
 - (3) 避難訓練はリアリティのある訓練をすべきだと考える。
 - (4) P H V車の運用及び今後の増設予定はどうか。
 - (5) 過去の災害データをどう活用していくか。
 - (6) 自衛隊の隊員募集に対して市として積極的な協力を。

- 3 市内の道路整備について問う
 - (1) 市が把握している事故多発地点はどうか。
 - (2) どのような優先度で整備を行うのか。
 - (3) 夢結橋西側の用水路付近交差点の今後はどう考えているのか。
 - (4) 自転車事故削減に向けての対策の進捗はどうか。

14 伊藤 隆信 議員

- 1 自然災害について
 - (1) 防災とコミュニティについて。
 - (2) 河川の氾濫について。
 - ① 五条川の過去の氾濫は。
 - ② 河川の合流地域は大丈夫か。
 - ③ 河川の監視カメラの現状は。
 - ④ 五条川下流部の排水ポンプ機能状況は。
 - ⑤ 五条川下流、青木川の破堤による被害は。
 - (3) 風水害について。
 - ① 都市型豪雨の対策について。
 - ② 電気、ガス、水道が使えなくなった場合の避難施設について。

- ③ 避難生活必需品について。
 - ④ 浸水ハザードマップの今後について。
 - ⑤ 竜巻注意情報について。
- (4) 地震防災について。

- ① 南海トラフ地震の対策
- ② 液状化について。
- ③ 下水管、水道管の影響について。
- ④ 水の確保は大丈夫か。

2 環境問題について

- (1) 清潔で美しいまちづくりについて。

- ① 清潔で美しいまちづくり条例施行の背景は。
- ② 現在の条例制定後のまちの状況は。
- ③ 五条川下流部のごみ等、ポイ捨て、粗大ごみの対策について。
- ④ 駅周辺のたばこ等のポイ捨て対策

- (2) ごみ問題について。

- ① ごみ袋の厚さについて。
- ② カラス対策について。
- ③ 集合住宅のごみ出しについて。
- ④ アプリの現状と今後について。
- ⑤ 資源ごみの今後について。

- (3) 地球温暖化防止に向けて。

- ① 大国によって消極的になっている中、今後の取組は。
- ② 学校、生徒の指導について。

3 土地問題について

- (1) 岩倉市と隣接する市の境界について。

- ① 岩倉市の面積が減少した原因は。
- ② 川井の土地が北名古屋市に入り組んでいる場所について。
- ③ 岩倉市と隣接する市の入り組んでいる場所は他にあるのか。
- ④ 川井町折屋敷の今後の活用について。